

**No.157**

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

特集	外国人市民の防災 ―楊梓さんに聞く(後編) …… 1	カレンダー	2020 年 10 月の comm cafe ランチカレンダー …… 5
特集	外国人市民による防災についての意見交換会 …… 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ …… 6
コラム	アートの小箱 vol.8 「日常の余白を守る」 …… 4	巻末	編集後記 …… 8

特集 COVID-19 時代の「多文化共生」(その2)

外国人市民の防災 ―楊梓^{ようし}さんに聞く (後編)

楊さんは「人と防災未来センター」(兵庫県)の主任研究員。中国吉林省出身。当協会の外国人防災リーダープロジェクトの検討委員をお願いしている。外国人市民の防災について、楊さんから現状と課題、今後の方向などについて、8月6日、オンラインでお聞きしたお話を前号に続いて報告する。(荻野)

めろん編集部(以下、めろん) 現在、箕面の外国人防災リーダー養成の取り組みでお世話になっているが、他市での先進的な事例があれば教えてほしい。

楊 箕面市の仕組みは、岡山県総社市の取り組みを参考にしているが、同市は2013年から外国人防災リーダーの養成を始めており、一番進んでいると思う。市の職員でキーパーソン^{たん}の譚さん(ブラジル出身)は「最初は興味で参加していた人たちが、何年も続けるうちにどんどん意識が変わり、より大切な課題だと捉えて活動するようになってい」と述べている。

2年前の西日本豪雨では、総社市も被害を受け、外国人防災リーダーたちもボートを出して地域住民の救出活動を行った。隣りの真備地域へもボランティア活動を行った。

その他、浜松市も外国人リーダーと多文化防災に関する取り組みを進めており、佐賀県でも昨年から外国人防災リーダー養成に取り組んでいる。

めろん こちらでも昨年、防災担当職員らが総社市を視察し、制度が生まれた経緯などを「めろん146号」で報告している。ところで外国人防災リーダーらに日本の防災活動を理

解してもらったための活動はどう行われているか？

楊 総社市では、市役所と公設国際貢献大学校(岡山県新見市)などが連携して講座を行っている。2013年の訓練は、2日間にわたり救急救命講座や体験訓練をやった。毎年譚さんは受講者と振り返りをして、内容がどんどん改善されている。

一般に、外国人市民を対象にしたものは、年1回講座をするパターンが多い。行政の防災担当や消防署の方を呼んで防災セミナーを開き、消火訓練や応急手当などをする。継続性と効果が課題で、私にとっても検討テーマである。

めろん 防災計画で重要なものの一つに「避難行動要支援者」の名簿作成がある。現在の名簿には通常、外国人は含まれていないが、言葉の分からない外国人市民は避難情報が分からず避難できない可能性もある。そういう外国人市民は



楊梓さん

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会(MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：269 名 法人会員数：29 団体(2020 年 9 月 16 日現在)

名簿に載せるべきと思うがご意見聞かせてほしい。

楊 「避難行動要支援者の避難行動支援に関する事例集」という、内閣府がつくった事例集がある。そこにある埼玉県三郷市の事例では、「日本語の理解が不十分、又は環境に不慣れな外国人」は、申請すれば「避難行動要支援者名簿」に登録できる、となっている。他の自治体にとって、よい参考事例である。言葉の問題で、避難時の助けが欲しいと本人が希望すれば、要支援者名簿に掲載するシステムを作っても良いと思う。ただ、彼らを支援するボランティア体制など、あとのフォローがなければ名簿を作っても機能しない。



避難行動要支援者の
避難行動支援に関する
事例集 (内閣府)

めろん 災害時、避難所では文化や言葉、生活習慣などの違いを超えて互いに理解しあうことが必要になるが、それを促すにはどうすれば良いとお考えか？

楊 まずは災害時では遅いということを言いたい。平時のときからのつながりが何よりも大事。平時からの関係性のなかで外国人市民には、日本社会への理解、支援されるだけでなく、自分たちもできることがあるという認識も持ってもらうようにすべき。「言語が分からない＝弱い人」ではなく、言語は分からなくとも、避難物資を運んだりできる。そういうことをしないといけないという意識を外国人市民は持つことが重要。

日本人側も「外国人は『お客さん』ではなく、『地域の一員』である」と外国人への認識を変えてほしい。状況はいろいろなので、「今できること」に焦点をあて、柔軟に対応してほしい。

めろん 「地域の一員」とはどうお考えか？

楊 正直、自分も町内会に入っていない。仕事で土日もないほど忙しいので。留学生も自治会参加は無理であろう。だけど普段から挨拶をし合える関係が大切だと思う。そういう関係があれば地域の活動に声掛けし、参加することも可能だし、災害のときも「助けが必要ですか？」と声を掛け合える。そこが大事な。

協会職員 (防災事業担当) 私は家族と団地に住んでいるが、自分の国(モンゴル)の慣習で、転居後すぐ近所に挨拶にまわった。しかし今、出会ったとき大きな声で話しかけてもほとんど答えてくれない。すれ違うときに急に下を向く人もいる。

めろん まずホスト社会側の日本人の方から積極的に挨拶をしたり、心を開いて会話するよう、心掛けることが肝心と思う。

楊 最近感じるのは、今の時代は便利になってコミュニケーションしなくても生きていける。タクシーを呼ぶのも出前もアプリでできる。IT技術の進展と引き換えにコミュニケーションは後退する感じた。そういう点で若い人を中心に日本人のイメージが変わった気がするが、中国でも同じ。



日本語教室に通う外国人市民の自宅に赴いて
ガスの復旧方法を説明するボランティア
(2018年6月大阪府北部地震後)

「共助」の基本である「社会は助け合うもの」という、めざす理想から遠くならないかと気になる。
(終)

取材を終えて
(編集部より)

楊さんの2時間に及ぶインタビューのすべてを掲載することはできなかったが、どんな質問を残して編集すればよいか、それぞれの目的意識から長時間議論した。以下、取材した3名からの感想を述べ、引き続きこのテーマで考えていきたい。

●「日本人たちに『外国人も同じ社会の一員』だと認識してほしい」との言葉が印象に残る。実際には「あいさつ」すらされない現状をどう変えるか。やはり防災行事や地域のイベントは、平時からさまざまなマイノリティの当事者を巻き込むことが必要だ。異なる立場の人たちの声を真摯に聴き、自身の思い込みや先入観をどう上書きし、目の前の人とどう向き合い続けるか。すべての多数派に問われている。(岩城)

●近年、大雨や台風の度に「想定外!」と言う言葉をよく聞く。地球温暖化が原因の一つらしいが、大きな災害がこれから常態化しそうな不安がある。よく聞くラジオの防災情報が昨年から随分変わってきた。コロナのせいか、避難も「自宅が安全なら在宅避難を」になり、関連して在宅のための備蓄品、避難所へ行くなら何を携帯するかなども。どれも当たり前のことだが、外国人市民の方たちにはどれほど届いているのだろうか。自分の命を自分で守るために大切なことをもっと大きな声で伝えて欲しいと思う。(井嶋)

●楊さんのお話から当協会は何を為すべきか。色々考えられるが、お話の要点を広く知って頂けば、そこから新たな展開が始まりうる。市民に知って頂くには、例えば「もみじだより」などで、この課題を時々とりあげていただけないものか。外国人市民には、防災の情報セットの形で協会から個別に全員に送ることはできないのであろうか。まず市と話しあうことが第一に為すべきことであらう。(荻野)

(インタビュー参加者:井嶋、岩城、荻野、ムンフバヤスガラン)

外国人市民による 防災についての 意見交換会

地域での防災体制について外国人市民の意見を聞くことを目的に、8/29 (土) 協会主催の意見交換会が開催された。当日は5人の外国人市民をパネリストとして迎え、協会と箕面市文化国際室の職員、人と防災未来センターの楊研究員、ダイバーシティ研究所の田村太郎代表も参加して、話を聞いた。

今回のパネリスト5名は日本滞在が長く、会話も流暢。大阪北部地震とコロナ禍での経験について話してもらった、そんな方たちでも困ったことは幾つもあったと言う。



(ベヘナムさん：
イラン出身)

コロナでなぜスーパーからトイレットペーパーが消えた？
「イランは感染者が多く、特に低所得者は大変だった。医療も受けられないし、その人たちはマスクよりパンが欲しいと言うのが本音

地震のとき、親がパニックになっていたのに、幼稚園児の娘はさっと机の下に入った。幼稚園の訓練のおかげ。だから、「今度からは親も連れて机の下に入れるように娘に教えて」と先生にお願いした



(ハリユンさん：
モンゴル出身)



(李さん：
韓国出身)

韓国ではコロナの流行が早く、対応も厳しかった。それを見ていたので、日本で流行り始めたときは本当に恐ろしかった

私たちに会いに日本に来ていた母はベトナムへ帰りたいのに、ずっと帰れない状態。日本語のできない母が家に閉じこもっているのがとても心配



(トゥエットさん：
ベトナム出身)



(張さん：
中国出身)

焼き肉店でアルバイトをしている。2月頃は中国人の観光客がまだたくさん来ていたので仕事もあったが、それ以降はぱったりなくなってしまった。観光関係の仕事をしている中国人はとても大変

参加者からは「みんな情報はどうやって得ているの？」との質問。行政職員からの、「情報発信は力を入れているつもりだが、どれだけ届いているのか。自己満足で終わっていないだろうか」との声に、パネリストからは、「地震のとき断水が続いたが、いつ復旧するのか全然わからなかった」、「近所の日本人に教えてもらった」という声も。コミュニティを持っている人は良いが、一人暮らしの留学生などは孤独を感じているのかもしれない。また、「例えば『震度』と『マグニチュード』など、地震のない国や地域の人には翻訳しても、そもそもの意味がわからない」という話も出た。

最後に協会から「箕面市と協会で、外国人防災リーダー養成講座をやろうと思っている。興味のある人は？」との呼びかけ。これにはみんな暫しの沈黙…。「リーダーというのは荷が重過ぎる」「同国人を代表しているわけじゃないし」など、一様に「リーダー」という言葉への違和感が表明された。「できる範囲で、楽しく防災の知識が増えるのがよいのでは？そうすれば自然とみんなが動けるようになるよ」とベヘナムさんが提案してくれた。

近年の日本は、日本人でさえ戸惑うような大きな災害が起きている。まして、外国から来た方はほとんど災害のない地域から来た人もいし、災害の考え方が国や地域によって違う事もあるようだ。こうしたことをより多くの市民に知ってほしい。また、箕面市と協会には、この声を活かして取り組みを進めてほしいと思う。(井嶋)



意見交換会の様子



「多文化共生社会って何なんだ」と問い続け、アートの世界にその糸口を得た野崎ターラー(協会職員)。読者のみなさんにも、アートの世界に触れ、共生のヒントを感じてもらおう不定期連載コラムです。

日常の余白を守る

以前(めろん 143号)、このコラムで私設図書館の「Think Library」をご紹介したが、今回は同じ桜井市場のなかにある「こども美術教室アトリエ DADA(ダダ)」をご紹介したい。今は空き店舗が目立ち人通りも少ないが、教室が始まった17年前はほぼ全ての店が開いていて、通路には買い物客が行き来していた。そして、食品店や生活用品店以外に、面白い雑貨屋やギャラリーが点在し、そうとう個性的な空間だったそう。主宰者で美術家の伊佐地さんはそのような場所で、できるだけ制作の指導をしない方針でアトリエを始めた。



個性を育てるためには、好きなように創作させた方が断然面白いという。教室を飛び出して制作することもしばしばで、市場の通路の端までロール紙を敷いて絵しりとりをしたり、チョークで落書きしたり、市場の人達に迷惑をかけながらも、たいていは面白がってくれていたという。

伊佐地さんの話を聞いていると、面白がってのびのび創作する子どもたちの姿と苦笑しながらも、受け入れていた市場の人たちの姿が眼に浮かぶ。アトリエはたんに創作の場だけではなく、子どもも大人も交流する場にもなっていたのだろう。

市場内のギャラリーが開催した昔のチラシを見せてもらうと、たしかにバカらしくも思える企画(「ひとり飲み会」をみんなでやる、など)もある。しかし、要不要、生産性や効率性だけでは、新しい発想やアイディアは生まれにくいように思う。人が人らしくあるための「日常の余白」を守るためにも、このようなアトリエは何としても町に存在していて欲しいと思う。



店舗情報：月、火、木、土曜日の14～16時
〒562-0043 大阪府箕面市桜井2-10-5
桜井市場内

☎・📠 072-729-6347
✉ dada@sound.ocn.ne.jp

主宰・指導 伊佐地恵子
詳しくは問い合わせを



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00～3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00～7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日：土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■<http://homepage2.nifty.com/ozawa-clinic/>

【住所】〒562-0023

箕面市栗生間谷西 3-7-9 シャトー野間 1F

阪急バス停留所「宮の前」 スーパーマルヤス向い

🅐 無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721



フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00～17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の 多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00～17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター

10月

October



comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

★朝カフェ … 9:30 ～ 11:30

★ランチタイム … 11:30 ～ 14:00

* 売り切れ次第終了します *

★午後カフェ … 14:00 ～ 17:00

★世界の朝ごはん (ドリンク付 660 円)

… 10:00 ～ 13:00 * ランチはありません

日・祝日

★ランチセット (ドリンク付 510 円)

… 9:30 ～ 15:00 * ランチはありません

ランチは 880 円 (税込) です。

* ランチタイムのみプラス 100 円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクがつけます。

●ご予約 (comm cafe 直通) 072-734-6255

☒ … スナック or スウィーツの日 ☑ … カフェで開催するイベント

各種イベントの詳細は「めろん」P6・7をご覧ください。

comm cafe からお知らせ

★平日もモーニングははじめました! 9:30am ～ 11:00am L.O.

◆トーストセット 510 円◆ 手作り食パン、ブルガリアのアプリコットジャム、ギリシャヨーグルト、NZ 産バター、ドリンク (コーヒー、紅茶、ジュースのいずれか) つき

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
			1 オリガさん 《ベラルーシ》	2 史さん 《中国》	3 アズドウさん 《セネガル》	4 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00
5 休館日	6 コフさん 《タイ》	7 トウエットさん 《ベトナム》	8 ティさん 《ベトナム》	9 ジェニーさん 《アルメニア》	10 レイラさん 《モロッコ》	11 トーストセット (9:30 ～ 11:00) 1 エーゲ海からの生の声 11:00 ～ 12:30 ★カフェをご利用できる 時間 14:00 ～ 17:00
12 休館日	13 ノックさん 《タイ》	14 セイハンさん 《トルコ》	15 ホーさん 《香港》	16 クラウドディアさん 《メキシコ》	17 ティさん 《ベトナム》	18 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00 ～ 13:00
19 休館日	20 いずみさん 《ベトナム》	21 セイハンさん 《トルコ》	22 史さん 《中国》	23 洪さん 《コリア》	24 ホーさん 《香港》	25 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00
26 休館日	27 ノックさん 《タイ》	28 チームシカモ 《多国籍》	29 いずみさん 《ベトナム》	30 ジェニーさん 《アルメニア》	31 クリスさん 《フィリピン/ ニュージーランド》	

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe



国際交流協会(MAFGA)からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは(公財)箕面市国際交流協会まで

※開催場所：箕面市立多文化交流センター

電話：072-727-6912 FAX：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

定例イベント	10/10(土) 12:00～13:00	NZ ハット市とのオンライン交流会 ZOOM を使って生の国際交流ができる定例イベント 【テーマ】移動手段（自転車、車、バスなど）について	場所：講座室 A・B 参加費：無料（予約不要） 申込：当日、お越しください！
	10/17(土) 18:00～20:00	みのお cinemo 上映会 毎月 1 本、視点を豊かにする映画を上映 【上映作品】『気候戦士〜クライメート・ウォリアーズ〜』 原題：Climate Warriors/2018/ ドイツ /86 分	定員：10 名（先着順） 場所：ミーティング室 参加費：500 円（賛助会員・大学生） 800 円（一般） 申込：電話・窓口・メールにて
	10/18(日) 14:00～15:30	Sunday Book Review 英語の原書と一緒に読みませんか？ “The Remains of the Day”（日の名残り） Kazuo Ishiguro / カズオ イシグロ 著	場所：ボランティア活動室 参加費：ドリンク代（200 円～） 申込：初めて参加する場合は、 資料の準備のため要事前申込
講演会			
①10/10(土) 14:00～16:00 ②10/17(土) 14:00～16:00	秋の多文化ボランティアセミナー ①「やってみよう!対話型学習の実践 ～大阪府教育庁「さいて まねして はなして」を 使った日本語学習支援の試み～」 講師：安田乙世さん（NPO法人おおさかこども多文化センター理事） ②「地域日本語教室とボランティアの役割」 講師：澤田幸子さん（（一財）海外産業人材育成協会日本語講師）		定員：各回 40 名（要申込） 場所：講座室 A-C 参加費：一般 550 円 / 日 賛助会員 無料 保育：あり。定員 3 名 申込〆切：各日の 7 日前まで。 1 歳 6 ヶ月～就学前（100 円 / 1 人）
イベント			
11/7(土) 10:00～12:00	多文化体験・交流・学びクラブ「まふがっこ」 地域で暮らす外国人市民との交流で多様性を体験する プログラム＆ワークショップあり。★ZOOM ではありません。 テーマ：「タイの町のあれこれ」 ◎講師：中川ナパラウィーさん（タイ出身）		対象：小学生 定員：10 名（先着順） 場所：会議室 参加費：無料 申込：10/13（火）から 電話・FAX にて
小野原図書館 からのお知らせ			
企画展示 10/2(金) ～ 10/23(金)	テーマ 【里親】	10 月の「里親月間」に合わせ、 大人向けの一般書から、子ども向けの絵本まで、 さまざまな本を蔵書からセレクトして展示する。 ★入り口、左側の展示スペースにて	場所：小野原図書館 多文化交流センター内 開館時間：10:00～17:00 休館日：月曜日 問合：072-749-5176

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 38 年の歴史～

*バレエコース：教師歴 55 年の唐木幸子と、「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校教師養成学科」卒業、バレエ教授法取得証明書(Diploma)取得、教師歴 25 年の唐木智子が丁寧に指導致します。「バレエは芸術」として楽しんで長く続けられるように、また中高生にはクラブ活動や受験で断念する事のないよう配慮しています。幅広い年齢層(3 才～70 才位)で目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース：現在、大学教育にもなっている「姿勢科学」理論に基づいた姿勢調整をいたします。(姿勢科学療法)

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前(駅より 30M)
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社)日本バレエ協会会員・AODT 会員



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

展覧会

特別展「先住民の宝」

Treasures of Indigenous People

10/1(木)

～

12/15(火)

先住民としての誇り、伝統、希望。

先住民の思いをのせた約740点におよぶ展示品とともに、先住民の世界を紹介する。

★屋外にそびえるカナダ先住民と作った新作トーテムポールも必見!

場所: 国立民族学博物館 特別展示館
(吹田市千里万博公園 10-1)開館時間: 10:00～17:00(水曜休館)
入館 16:30 まで観覧料: 一般 880 円 大学生 450 円
高校生以下無料

*旧会期の招待券もそのまま使用可

まなびカフェ

まなびカフェ 2020

さとおやっとなあに?

10/15(木)

18:30～20:00

～社会的養護と里親制度、里親さんの体験談+相談会～
終了後個別相談あり

◎講師 野口恭佑さん(里親支援専門相談員)

場所: らいとびあ 21 1F 展示コーナー
(箕面市萱野 1-19-4)

参加費: 100 円程度(飲み物代)

定員: 15 名

主催: 萱野中央人権文化センター(らいとびあ 21)
☎072-722-7400

イベント

ジャグリングショー&トークイベント

いじめよりおもろいもん

10/17(土)

14:00～16:45

◎講師 ちゃんへん.さん

京都を拠点に世界中で活動するパフォーマー

『ぼくは挑戦人』著者

場所: ドーンセンター 1階パフォーマンススペース
(大阪府立男女参画青少年センター)
大阪府立男女参画青少年センター参加費: 3500 円(要事前申込)
(イベント参加費 1520 円+書籍代 1980 円)

定員: 80 名

主催: 隆祥館書店 06-6768-1023

講演会

映画でみるレイシズム
～Black Lives Matter～

10/24(土)

14:00～16:00

◎講師 中村一成さん(ジャーナリスト)

差別や偏見を個人の問題ではなく、構造的な問題として捉える必要があることをアメリカを始め世界的に広がる BLM 運動をキーワードに考える。

★『映画で見る移民/難民/レイシズム』中村一成著(影書房)も、あわせてどうぞ。

場所: 人権平和センター豊中
(豊中市岡町北 3-13-7)

参加費: 無料

定員: 30 名(申込み先着順)

主催: とよなか人権文化まちづくり協会

✉bwz37306@nifty.com

☎06-6841-5300

上映会

エスパー口能勢 屋根裏シアター

社会問題をテーマにした映画を毎月上映

10/25(日)

・26(月)

13:30～

【上映作品】『バベルの学校』

フランス パリの中学校の一年間をとらえたドキュメンタリー。

そこには、24 人のクラスメイト、20 の国籍、そして 24 のストーリーが...

★作品上映後に、感想交流会あり。絶品!エスパー口ランチ(800 円)を希望される方は、上映会申し込みの際に、予約を!

場所: エスパー口能勢
(豊能郡能勢町地黄 476)参加費: 一般 1,000 円
高校生以下 500 円(ドリンク付き)

定員: 各 5 名

主催: エスパー口能勢

✉info@espero-osaka.com

☎080-3764-7905

公演

劇団石(トル)ひとり芝居 ◎京都2Days 公演

人の値打ち～たまちゃんとはるちゃん～

①10/31(土)

14:00～

②11/1(日)

14:00～

脚本・演出・出演 きむきがんさん

パワフルな笑いの中に、常にマイノリティに目を向けた作品を上演している芝居人きむきがんさんが、部落差別をテーマに、懸命に生きる女性の半生を演じる。

申込みフォーム

場所: ①京都ひとまち交流館
(京都市下京区木屋町通上ノ口上梅湊町 83-1)

②京都府部落解放センター(京都市北区小山下総町 5-1)

参加費: 一般 3,000 円

学生・障がい者 2,000 円

(小学生以下入場不可・託児なし)

定員: ①100 名②80 名

(完全予約制・当日券なし)

主催: 劇団石(トル)とゆかいな仲間たち

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?

ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう!
(立体的裁断)

南正枝 プロフィール(略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体的裁断、
デザイン等を修得

昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体的裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: ☎562-0012 箕面市白島2-2-30 電話/FAX 072(721)4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!!

会議日程

読合せ 第2火曜日 15時～(次回は10月13日)
編集会議 第4土曜日 10時～(次回は10月24日)

作業日程

印刷 毎月最終火曜 13時～(次回は10月27日)
発送 毎月最終水曜 13時30分～(次回は10月28日)

場 所

箕面市立多文化交流センター2階

編 集 後 記

「芝居の本質は舞台にではなく、袖にある」と、どこかの演出家と言ったとか、言わないとか。

多文化交流センターの「舞台」といえば、comm cafe や日本語教室などか。では、「袖」はといえば、例えば!! 2階ロビーである。ここはフリースペースであるがゆえに、「事業コンセプト」などとは関係なく自然発生的なことが展開する。まず、天井を見上げると天窓がある。太陽光を取り入れる素敵な窓だが、雨漏りがしている。それもセンターが開館するときにはすでに漏れていた。何度も業者が修繕したが、それでも雨漏りは完治しない。これはきっと、人智を超えた何かの啓示。人間の力によってあらゆるものをコントロールしようという科学万能主義や合理主義への警鐘に違いない。さらに、この天窓には「矢」が刺さっている。3本ではない。4本である。天空に向けて地上4mのガラスの天窓に刺さる4本の矢。これはもう現代アート。きっとバンクシー的な何者かによる仕業だ。現代社会に発せられたそのメッセージとは?そして2階ロビーといえば週末ごとにたむろする近所のこどもたち。そのドラマを書くには誌面が足りない。いずれ本編で。けだし「袖」には本質があるのである。(河合)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜)黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
 - (日曜・祝日)緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30、51、55、56 58、59、66、79	① 小野原
		② 小野原西
	175、176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70、78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、大橋亜由美、荻野克彦、島田希、崔聖子、平沢清美、結城なお、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、炭野洋子、鳥羽山良平

問合せ：(公財)箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

HP：www.mafga.or.jp FB：facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル：http://portal.mafga.or.jp/